

事業名	種豚改良		
予算区分	県単 (17,886千円)	担当	改良技術研究室 養豚研究グループ
事業期間	継続 (平成元年度～)	協力関係	
事業目的	優良な繁殖用種豚を選定し、パークシャー種の種子豚及び、パークシャー種・デュロック種の精液を生産・供給する。これにより岡山県産豚及び「おかやま黒豚」(パークシャー種)の生産を推進して、岡山県の養豚振興を図る。		
<p>○ 本年度事業のねらい</p> <p>事業1 岡山県産豚の生産振興 (事業内容)</p> <p>種子豚譲渡及び精液譲渡</p> <p>1 種子豚譲渡は、パークシャー種子豚を生産し、背脂肪厚やロース芯面積の測定等により選抜した優良豚を、県内生産者向けに安定的に供給する。 譲渡計画頭数 雄 5頭 雌 60頭 合計 65頭</p> <p>2 精液譲渡(パークシャー種・デュロック種)は、原則として毎週2回(月曜と金曜)採精、モデナ液で希釈して、宅配便で翌日、農場に届ける。 譲渡計画本数 パークシャー種：350本、デュロック種：1,450本 計1,800本</p> <p>事業2 パークシャー種の種豚能力向上 (事業内容)</p> <p>1 繁殖能力の向上 場内種豚の総産子数・生存産子数・離乳頭数・離乳時総体重を、一般社団法人日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、成績上位の母豚から生まれた後継豚を保留する。 併せて、農家に供給した種子豚の総産子数、生存産子数、離乳頭数を調査し、黒豚の繁殖能力の検証を行う。</p> <p>2 産肉能力の向上 種子豚の背脂肪厚及びロース芯面積の測定等により、高能力な優良豚を選抜し場内保留する。</p> <p>3 外部導入 飼養豚の能力向上のため、繁殖能力や産肉能力の高い種豚を外部導入する。</p> <p>○ 前年度までの成果</p> <p>事業1 H29年度の岡山県産豚の生産振興</p> <p>1 種子豚譲渡頭数 パークシャー種 雄 5頭 雌 77頭 合計 82頭</p> <p>2 精液譲渡本数 パークシャー種：1,036本、デュロック種：568本 合計 1,604本</p> <p>3 繁殖豚の更新 繁殖豚は、次のとおり18頭更新した。 パークシャー種：雄6頭、雌14頭(うち県外導入雄1頭、雌2頭) デュロック種：雄3頭(県外導入)</p> <p>事業2 パークシャー種の種豚能力評価</p> <p>1 繁殖能力 繁殖能力の高い母豚から生産された種子豚の成績(生存産子数)を調査したが、相関性は低かった。より長期にデータを集積して再度調査を行う。 平成28年度以降は、繁殖能力の低い母豚はより積極的に廃用し、高い母豚から生産された種子豚を積極的に場内保留している。今後は、成績の推移を定期的にまとめる予定である。</p> <p>2 種子豚の繁殖調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1産以下での廃用率は、高い状況が続いている。 ・場内に保留した種子豚の繁殖成績は、改善する徴候が見られている。 			

種豚改良

—「おかやま黒豚」の生産振興—

